

Neues in Nara

Nr.52

2015年6月20日

Japanisch-Deutsche Gesellschaft Nara (JDG-Nara)

奈良日独協会 (会長 河野良文) 奈良市大安寺 2-18-1 大安寺内

Tel/0742-61-6312, Fax/0742-61-0473

<http://www.daianji.or.jp/jdgn/index.html>

編集委員：林 (hayashiy@zeus.eonet.ne.jp)、峯本 (hmine-24@m3.kcn.ne.jp)



これは会員相互のコミュニケーションツールです。皆様からの情報は編集委員へ”

●行事予定

1. ビア・アーベント

日時：7月25日(土)17時30分～19時30分

場所：大安寺境内(雨天決行)

参加費：2,500円(学生 1,500円)

家族・友人をお誘いいただき、多数のご参加をお待ちします(詳細は同封の案内チラシを参照願います)。

2. 第9回シュタムテイッシュ

9月6日(日)開催予定。詳細決まり次第別途ご連絡致します。

3. ムジークフェストなら

4回目を迎える「ムジークフェストなら」は、奈良県主催、大阪神戸ドイツ総領事館の後援で、今年も6月13日から28日まで奈良県一円で開催される。

●行事報告

1. 奈良日独協会・平成27年度年次総会

5月17日(日)13:30から大安寺で開催され、河野会長の開会挨拶の後、隅田憲孝理事を議長に選出。全ての議案が提案通り承認された。今回、理事の移動があり、八木一巳氏が退任され、後任に松本俊郎氏が選出された。長年にわたり理事として当会の発展に貢献された八木さんに心よりお礼を申し上げるとともに、今後とも会員として御助力頂くようお願い申し上げます。総会終了後、懇親会で出席された会員相互の親睦を深めた。



2. 春のブルーグラス祭典

さらに、3時半ごろから場所を大安寺境内の「いななき堂」に移して、井上太郎のマンドリンとカナダ出身のジョーダン・マコンネルのギターによるライブが催され、協会会員に加えて一般の参加者が多数詰めかけ会場は約1時間、超満員の熱気に包まれた。



●会員だより

八木 一巳 「地球は小さくなる？」

ルフトハンザ・ドイツ航空には昭和43年に入社し、ドイツ企業に長く身を置くことになった。大阪万博の2年前である。伊丹空港では、新空港ビル建設が始まったものの周辺には駐留軍カマボコ兵舎があり、国際線の送迎デッキはまるでログハウスのウッドデッキであった。

翌年秋ドイツ3ヶ月の出張となり、B707機で南周りルート24時間余りのフライトタイムに耐え、ドイツ・ハンブルグ空港に降り立った。これが退職までに十数回ドイツ、ヨーロッパへ行きかう第一歩となった。その時改めて、さすがに地球は大きいものだと実感したのだ。

3ヶ月の出張期間で、機体整備工場見学、航空ルール、会社文化研修、各国からのRep達との交流などのプログラムを完了し、ドイツ人気質をたたき込まれたような気がした。



研修仲間と(右前)

研修風景と研修センター

退職するまでの30余年間は社内外とも目まぐるしく変化した時代で、その中でも航空業界は飛行時間において、劇的に地球を小さくする努力をしてきた。業界の競争努力(飛行ルート、機種選択、サービスと質の向上、関係国の経済予測など)により微妙に変わるものであるが、大阪万博以前は長距離B707、近距離B737、B727が主であった。飛行時間短縮とPay-loadの向上で、南回り路線からモスクワやアンカレッジのルートに変更され始めた。万博以降は、好景気に転じ旅客・貨物共に増加し、機材はB747が主流となり、座席数もB707に比して約3倍近くの350席となり、ルートも次第にモスクワルート避けタシュケント(ウズベキスタン)周りの直行便に変化した。当然飛行時間も就航当時(B707)の半分の12時間ほどで到着するほど、地球を小さくしたのである。更なる努力でコンコルドの出現となるも、機材の安全性が低く短期間で運行停止となったことは航空業界の残念な記憶である。しかし、航空会社にとってはお客様の安心・安全が第一で、到着地までゆっくりと、楽しい機内の時間をお過ごし頂けるのが、至上最高のサービスとして努力の積み重ねをしております。

●新入会員

北岡宗洋(奈良県磯城郡)さん、菅野 紘(奈良市)さんが入会されました。